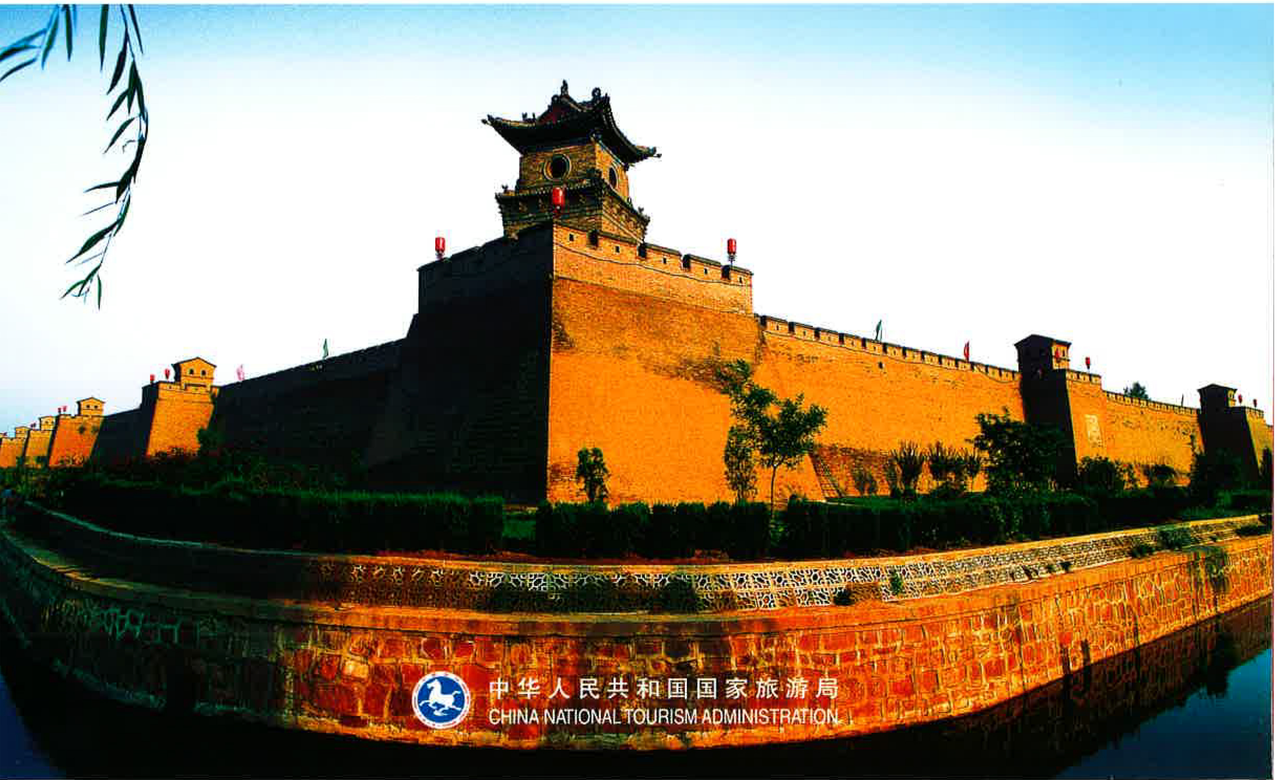
CHINA TOURISM

中國旅游

中国

世界遺産

平遥古城



平遥古城　世界文化遺産

平遥古城

山西省の中部、太原盆地の南端にある平遥古城は、省都太原から90km離れている。悠久たる歴史を持つ平遥は、新石器時代にすでに人類が生活していた。伝えられる所によると、尧帝が最初に陶の地に封じられたため、ここを「古陶」、「平陶」と呼ばれた。平遥境内にある中都は、春秋時期に晋国、戦国時期に趙国に属していた。秦の時、平陶県、前漢に中都県と京陵県が設けられた。北魏時期、鮮卑拓跋部落は北方を統一し、北魏太武帝拓跋燾の忌み名を避けるために、平陶を平遥に改名したのである。西周時期の宣王年間(B.C.827～B.C.782)に創建され、明の洪武三年(1370)に拡大工事が行われ、すでに2700年の歴史を擁する。今まで、中国明清時期の県都の佇まいを保たれ、中国の漢民族地区に現存する最も完璧的古城である。平遥古城は、整備された城壁、街道、寺院、民居などからなる膨大な建築群で、漢民族の伝統理念および建築スタイルによって建てられた古代都市である。都市は、市楼を中心に城壁と大小の横町からなる大きい八卦形図案を構成している。考案が巧みで、設計が厳密で、形が整た市楼、横町、民居のある古城は、伝統的な文明を示している。現存する3797ヵ所の伝統的民居は、平遥古城の重要な一部で、うちの400ヵ所が完璧に保存されている。これらの民居は、ほとんど明・清時期の古代建築で、2つ、3つの中庭を持つ四合院(庭を囲んで四面に建物がある伝統的民居)の建築は、中軸線を中心に対称する仕組みが厳密で、外観から見ると封鎖されるものである。木彫、煉瓦彫刻、石彫刻を施した窓や門に、郷土色濃く、生き生きとした切紙細工が貼られており、使用功能と建築芸術と完璧な融合を遂げた。伝統的民居の特徴は、煉瓦造りのアーチ形の窯洞と木構造煉瓦造りの建物の有機的な結び合わせることにある。旅館に改装し伝統的民居に泊まる人々は、大都市の喧騒から離れ、冬が温かく夏が涼しい窯洞の住み心地を体験できる。悠々たる生活の中、住宅主人のありしひの豊かさおよび古い民居の魅力を実感し、古城の古い文化的裏付けを了解することもできる。1997年、『世界遺産リスト』にランクされた。

古城壁

総面積2.25平方キロ、平面が方形をていする古城壁は、東、西、北壁が直角となるが、南壁は、中都河に沿って曲がって築かれている。山西省には、現存する歴史がもっとも古く規模がもっとも大きい城壁である。史料によると、平遥古城は、西周時期の宣王年間(B.C.827～B.C.782)に創建されていた。明の洪武三年(1370)に、異族の侵略を防御するために、西周の古い城壁について、土で壁の内部を突き固め、壁の外部を煉瓦で建てかえるように再建と拡大工事が行われた。以降の景徳、正徳、嘉靖、隆慶と万暦の歴代に、幾たびに補修や増築工事を繰り返し、とうとう今日の面影になったのである。城壁は方形となり、総延長は6157mで、壁の高さは約10m。城壁の内部は土で固め、外部は全部煉瓦で築かれている。煉瓦を敷いた城壁の上は、馬車が2両並行できる。防御作用を果す城壁には、烽火台、みはり穴、射撃穴、ひめがき(低く窪んでいる部分)など施設も設けている。そこにある3000ヵ所のひめがきと72ヵ所の烽火台は、孔子の3000人の弟子と72人の賢人と象徴し、いわゆる「文武の道、一張一弛」、「文を以って国を補助し、武を持って国を守る」ことである。城壁の回りには、護城河(濠)があり、戦乱期間、城内庶民の安全護衛に大きい役割を果していた。

古城のやぐら

古城の構造

平遥古城の内部構造は、中国古代都市の伝統的な対称構造を体現し、古代の封建礼教思想を具現した。古城は南大街を中軸線とし、市楼を中心に左に城隍廟と文廟、右に衙門(県役所)と武廟、東に清虚観(道教寺院)、西に集福寺(仏教寺院、現存しない)の対称的仕組みに建てられた。南大街、東大街、西大街、城隍廟町、衙門街は、「干」の字の形の商業街を織り成した。商業街の両側には、店舗や票号(初期の銀行)などが軒を連ねる。南大街を跨る高さ18.5mの市楼は、入母屋を重ねた3重屋根の建物で、伝えられた古城「風水」の要で、全城のもっとも高いところだ。市楼の創建年代は、考証しにくいが、現存するものは、清代康熙年間に建てられたもので、後に絶えずに補修工事が加えられてきた。

平遥古城の街

梁家大院の木彫を施した建物

日昇昌

中国初の為替業務を経営する銀行だった。清の道光三年(1823)に設立し、山西省平遥県西達蒲村の富豪李大金が資金を出して、総経理の雷履泰とともに創立した。総店は、平遥県繁華街の西大街の南側にあり、敷地面積は1600平方メートルで、全国には支店が35ヵ所もあった。1840年代、その業務は、さらに日本、シンガポール、ロシアなどの国まで広がった。「日昇昌」に率いられて、平遥の銀行業は迅速に発展され、一度に中国金融業界の中心となった。清代末期民国初期の商業貿易および近代工業の発展に重要な役割を果していた。今日、日昇昌の所在地の平遥西大街の38号は、「中国票号博物館」として一般に公開している。昔、栄えている街には、数軒の票号を集まり、「大清第一街」と称えられた。年間為替高が白銀100万両から3800万両に達した日昇昌の名も広く轟かせていた。票号の現しは、白銀を運んで商売する立ち遅れた作法にピリオドを打ち、中国金融業の新しい紀元を切り開いた。日昇昌の旧蹟にある中国票号博物館には、20ヵ所以上の展示ルームがあり、史料展示と旧蹟展示の二部分に分けられており、そこから中国民族銀行業発展のルートを辿れる。

古い市楼

古城の南大街にあり、全城の中心である。楼の下にゴールドでつくった井戸があるため、「金井楼」ともよばれる。山西省の重点保護文物のひとつ。現存する市楼は、清代の様式で、3階建ての木構造で、屋根に黄色、緑色のるりれんが敷かれている。形がきれいで、装飾が精緻をきわめる。そこには、清代の石碑がある。南大街をまたがる古い市楼内部の東南には、2階に登れる木造の階段がある。2階に登れば、全城の景色を満喫できる。

明清時代の街

南大街には、古風の建物が並べられている。街を散策すると、明清時代に戻るように彷彿させる。狭い街の両側には、きちんと店舗が軒を連ねる。れんが木構造の店舗は、平遥の特産品や

祈福用の水甕と石炭

古城の古い民家

古城の文宝斎旅館

地方のスナック、記念品などを経営している。街には、映画にしか見えない鏢局(白銀を護送に当る民間武装)もある。鏢局の旧跡に入り、その創立と発展の歴史を了解することができる。

文廟大成殿

雲路街の北側にあり、敷地面積8000平方メートル。文廟には、主に櫺星門、大成門、大成殿、明倫堂、尊経閣などの建物がある。1163年に建てられた大成殿は、寺院の主体建物で、すでに800年の歴史を持っている。建物の幅と奥深さは共に5間となり、周りには石欄干がある。屋根の両端に敷かれた緑色のるりれんがは、陽差に当てるときらきらと輝かしい。

古代県役所

古城南西部にあり、南に面して建てられ、敷地面積2万6000平方メートル。左右中の3部分からなる役所に、中軸線に沿って南から北へ役所、儀門、牌坊、大堂、大門、二堂、住宅の建物が並んでおり、さらに外の南横街まで延びている。現在の大堂など建物に補修工事が施されている。公開されているのは、二堂、住宅と二堂の脇部屋などで、それぞれの中庭と建物は、ほぼ明清時期役所の佇まいを保存している。

清虚観

東大街の北側にあり、元の名は太平観で、唐の高宗年間に創建された道教寺院。そこに、価値の高い石碑など文物が所蔵しており、県文物局の所在地でもある。元・明代に建てられた牌楼、山門、龍虎殿、純陽宮、三清殿、玉皇閣など3つの中庭10ヵ所の建物は、南から北へと並べられている。三清殿には、元代の石碑がある。その正面に書かれたモンゴル文字は、高い史料的価値を持っている。龍虎殿の内部には、勇猛で逞しい青龍、白虎の塑像があり、元代塑像の中の逸品である。このほか、唐、宋、金、元、明、清代の石碑が大小20点も所蔵している。

市楼を背景にする古城の街

店舗が連なる古城の街

双林寺

中都寺と呼ばれていた。平遥県の南西から約6キロ離れた橋頭村の北側にある。鎮国寺、平遥古城と共に平遥三宝と併称している。双林寺の中の彩色彫塑は、広く知られており、「東方彩色彫塑芸術の宝庫」と称えられる。寺には、わずか数10センチしかない小さい彫塑から、高さ3.4メートルもある大きい彫塑まで、計2000体以上の彩色塑像があり、それぞれ表情も外形もすばらしく、高い芸術価値を持っている。もっとも珍しいのは、こんな数多い彫塑が今まで完璧に保存されていることである。双林寺の外観は、砦式の建物で、周りには土で固めた壁がある。寺の仕組みが整い、計10ヵ所の殿堂、3つの中庭がある。西に殿堂、東に読経室、禅院、僧房がある。中部には、天王殿、釈迦殿、大雄宝殿、仏母殿が順序に並べられている。釈迦殿の造型が簡潔で、内部の四壁に描かれた壁画は、シャカムニの成仏コースを表わしている。羅漢殿にある18体の羅漢像は、それぞれバレエティーに富む表情があり、人々に強烈な美的感覚を与え、寺の彩色彫塑の精粋である。

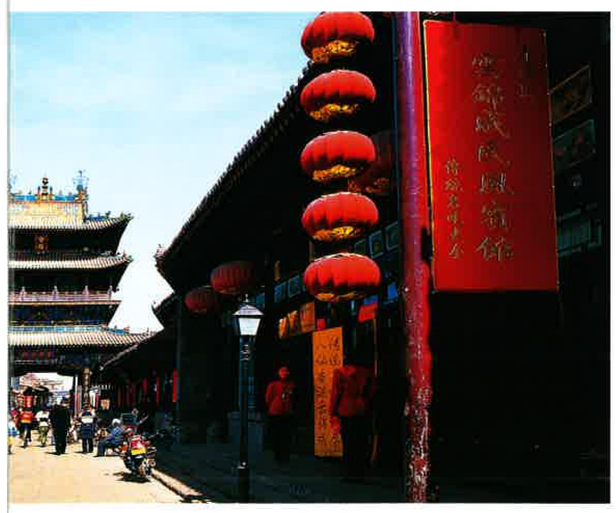
双林寺にある塑像

双林寺にある塑像

日昇昌票号の中庭

鎮国寺

平遥県の北から15キロメートル離れた郝洞村にあり、五代の後漢時期(947～950)に創建され、大同――蒲城鉄道の洪善駅からわずか1キロメートルの道程。寺院は前後の二部分に分けられ、南から北へと天王殿、万仏殿、三仏殿などの建物は並んでいる。万仏殿は、前部分の主要建築で、中国では現存するもっとも古い木造建築の一つである。殿の規模が大きくないが、気勢が雄大だ。殿内には、14体の彩色彫塑があり、仏壇の真ん中にシャカムニ像、迦叶、阿南の二人の弟子は左右に立っている。シャカムニは造型が高く、顔たちが端麗で、色濃い盛唐風格を備えている。三仏楼は後部分の主要建築で、殿内に法自仏、報自仏、応自仏の三仏を供えるから名をとった。三仏殿のもっとも著名なのは、壁にシャカムニの生涯をモチーフに描かれた明代の壁画で、明代壁画の中の逸品である。



票号

平遥は、中国古代の名高い「晋商」の発祥の地である。16世紀以降、平遥古城は中国北方にある商業重鎮となり、19世紀の中後期に最盛期を迎え、一度に中国近代金融業の中心となった。平遥の「日昇昌」票号は、中国初の預金、貸付、為替業務を経営する私的な金融機構で、中国銀行業の先駆者である。日昇昌票号は、地元で為替する方式で、鏢局による長距離で現銀を運送する方式を取り替らせた。しかも、最初に手形に特製の透明な模様を印刷したのだ。日昇昌の影響を受けて、19世紀末期にいたって、「天下に通じる為替」を経営する山西の票号は33ヵ所まで増やし、ブランチ機構は国内の83の都市および日本、朝鮮、シンガポールなどの国に及ぼし、計400ヵ所に達した。その時、わずか平遥城内の南大街と西大街には、20ヵ所の票号があり、全国票号総数の5割以上を占め、ほぼ中国の為替業務を独占していた。票号は平遥古城の強い経済の支柱となり、古城の社会と文化の発展を大いに推し進めた。

明清街にある骨董屋の内部

協盛昌漆器店

切紙細工の売店

フェスティバル

平遥国際撮影展　9 月

内容：平遥古城壁、古い民居、古い街などを撮った内外のカメラマンの作品について、選抜し、表彰を行う。

地元料理

山西の麺類は種類が多く、作り方も独特。メンマーに特に工夫を凝らす。主に、ラーメン、タォーショー麺、手打ち麺、撥麺などがある。

軽食：平遥牛肉、平遥碗托などが有名。明清代の街を復活した軽食ストリートでは、地元の軽食を賞味できる。

特産品

平遥牛肉、六合泰枕、推光漆器、ナガイモ、民間の切紙細工、手作業の布靴、紹興酒、ナシ、南依澗郷のリンゴ、孟山醋、汾河のコウリャン、平遥の碗托、ルリ、水陸画、人形、木彫神像など。

アクセス

道路：平遥と太原の間には高速道路があり、バスを利用すると、2 時間しかかからない。

レストラン

店名	住所	電話(351)
晋陽飯店	太原市並州路 11 号	4043256
太原麺食店	太原市解放路 17 号	4043826
清真菜館	太原市橋頭街 102 号	2029179
滋補薬膳(清和元)	太原市橋頭街 97 号	2029160
唐都大酒店	太原市桃園南路 7 号	4080588
鴻沢翰麺食大全	太原市長治路 236 号	7327777

ショッピング場所

店名	住所	電話(351)
天龍大厦	太原市迎沢大街 291 号	4042583
五一百貨大楼	太原市五一路 2 号	2022570
華宇買物中心	太原市開化寺街 181 号	4186940
沃爾瑪買物広場	太原市小店区和信商業広場	7526066
貴都百貨	太原市柳巷南路 19 号	4069518

農民のチャルメラ演奏チーム

マンジュウ

ラーメンコンクールの現場

特色軽食の莜麺

平遥古城の灯祭

平遥国際撮影展の現場

華宇買物センター

市内交通：広くない古城内では、バスなどは運行していない。城内の移動は、歩行で行ける。観光者向けの人力車がある。

娯楽場所

店名	住所	電話
平遥国際金融家倶楽部	平遥西大街 56 号	354-5888888
平遥大戯堂	平遥城隍廟街東段	354-5682948
並州戯院	太原市府西街 233 号	351-2020626
御花園ボーリング館	太原市迎沢大街 186 号	351-2026688
天龍ビル工場娯楽城	太原市和平北路	351-6265830
荷花健康倶楽部	太原市青年路 229 号	351-4092885
雲水樹水上楽園	太原市平陽路 341 号	351-7340091
太原球王ボーリング	太原市迎沢大街工人文化宮	351-4061218

観光ホテル

店名	クラス	住所	電話
大麗沢苑国際酒店	★★★★	平遥順城路 140 号	354-5676888
徳昇原民俗賓館	★★★	平遥明清街位市楼南 100m	354-5680788
山西大酒店	★★★★	太原市新建南路 5 号	351-8829999
山西迎沢賓館	★★★★	太原市迎沢大街 189 号	351-4043211
山西愉園大酒店	★★★★	太原市開化寺 148 号	351-4123333
山西三晋国際飯店	★★★★	太原市迎沢大街 30 号	351-4049988
山西太平洋酒店	★★★★	太原市平陽路 55 号	351-7322222

観光旅行社

店名	住所	電話(351)
山西省中国国際旅行社	太原市平陽路 38 号	8211109
山西省中国旅行社	太原市新建南路 8 号	4049274
山西省中国青年旅行社	太原市青年路 34 号	4048017
山西省中国東方国際旅行社	太原市新建南路 9 号	2022995
山西省康輝国際旅行社	太原市双塔西街 133 号	4605518
山西省万景国際旅行社	太原市新建北路 113 号	4067226
山西省和平国際旅行社	太原市迎沢大街 378 号	4198738
山西省金地国際旅行社	太原市迎沢大街 248 号	4227345

全国統一の特種サービス電話

中国国際電話頭番号:0086	警察通報先:110	交通事故通報先:122
市内電話番号案内:114	国内長距離電話予約:113	国際電話予約:115
火事通報先:119	救急センター:120	天気予報:12121

中国国家観光局（東京）

東京都港区虎ノ門 2-5-2 エアチャイナビル 8F
郵便番号：105-0001
電話：03-3591-8686
ファックス：03-3591-6886

中国国家観光局大阪事務所

大阪市浪速区湊町 1-4-1OCAT ビル 4F
郵便番号：556-0017
電話：06-6635-3280
ファックス：06-6635-3281

中華人民共和国国家観光局

アドレス：北京市建国門内大街甲 9 号
電話：0086-10-65201114
ファックス：0086-10-65122096
ホームページ：http://www.cnta.gov.cn

CHINA TOURISM

中國旅游

平遥古城

中华人民共和国国家旅游局
CHINA NATIONAL TOURISM ADMINISTRATION

ご覧いただきありがとうございます！